

# 第3期平戸市総合戦略策定に係る アンケート調査結果

## (年齢階層別比較・自由意見概要)

### 年齢階層別比較

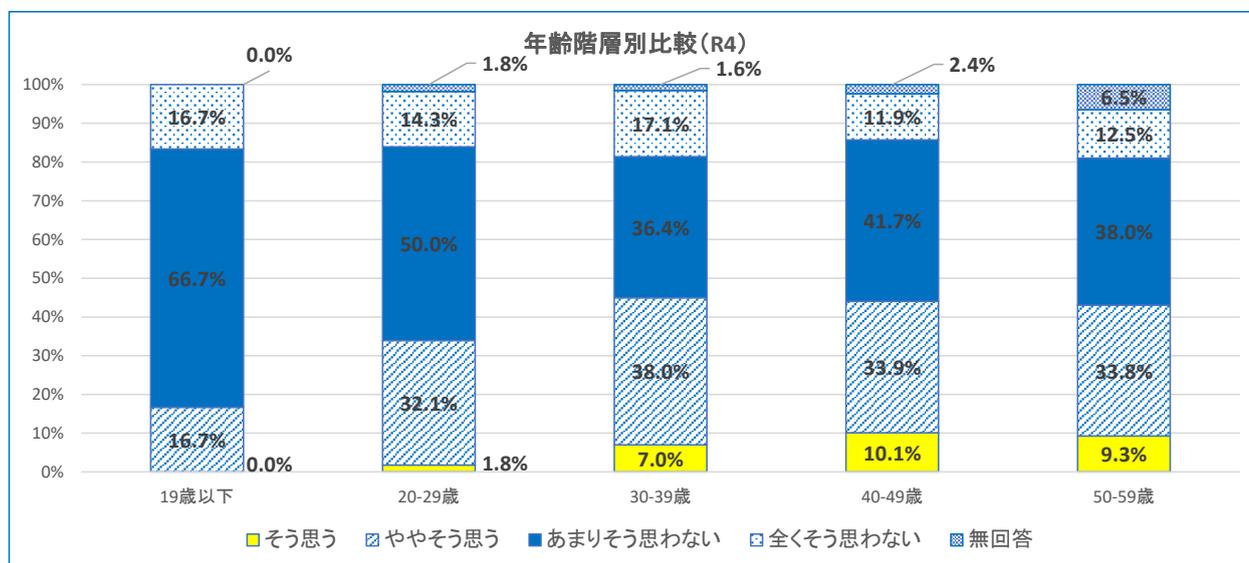
- 問7 現在の平戸市は働き続けることができる環境にあるか . . . 1ページ
- 問9 現在の平戸市は安心して妊娠・出産・育児できるような  
環境・社会であるか . . . 2ページ
- 問14 これからも平戸市に住み続けたいか . . . 3ページ
- 問17 住みたい・住み続けたいと実感できるまちづくりができているか  
. . . 4ページ

### 自由意見概要

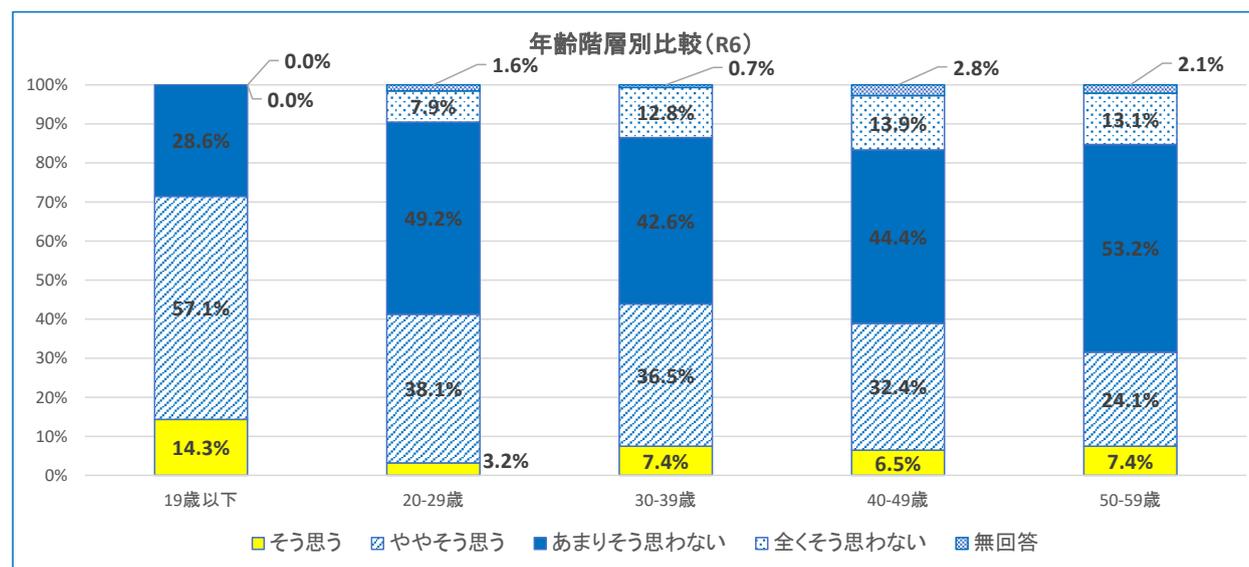
- 問19 平戸市が活性化していくために必要なことなど(自由意見)
- 子育て支援の充実に関するアイデアや充実が必要となる原因 . . . 5ページ
- 産業振興に関するアイデアや振興が必要となる原因 . . . 6ページ
- 雇用促進に関するアイデアや促進が必要となる原因 . . . 8ページ
- 定住・移住に関するアイデアや促進が必要となる原因 . . . 10ページ

■問7 現在の平戸市は働き続けることができる環境にあると思いますか。

令和4年度調査



令和6年度調査

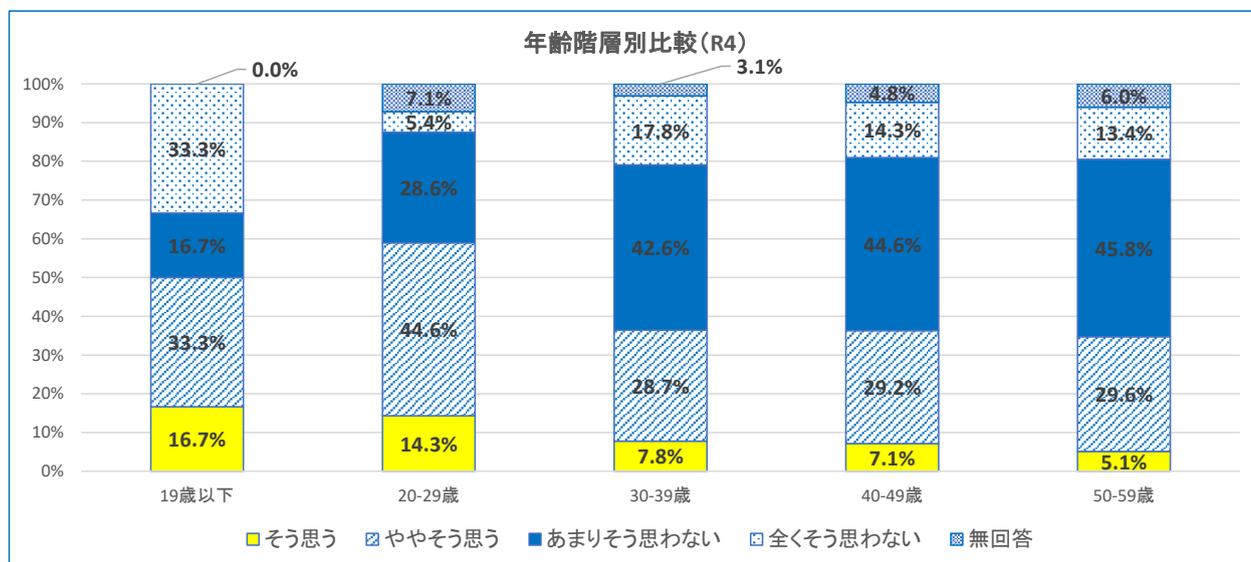


■コメント

19歳以下の「そう思う」「ややそう思う」の割合が令和4年度調査から大幅に増加した。また、20歳以上の「そう思う」「ややそう思う」について、令和4年度調査、令和6年度調査ともに最も割合が高いのは、30-39歳である。令和6年度調査では「そう思う」「ややそう思う」の割合が40歳以上で大幅に減少しており、年齢が高くなるにつれて働きづらいつ感じていることが想定される。

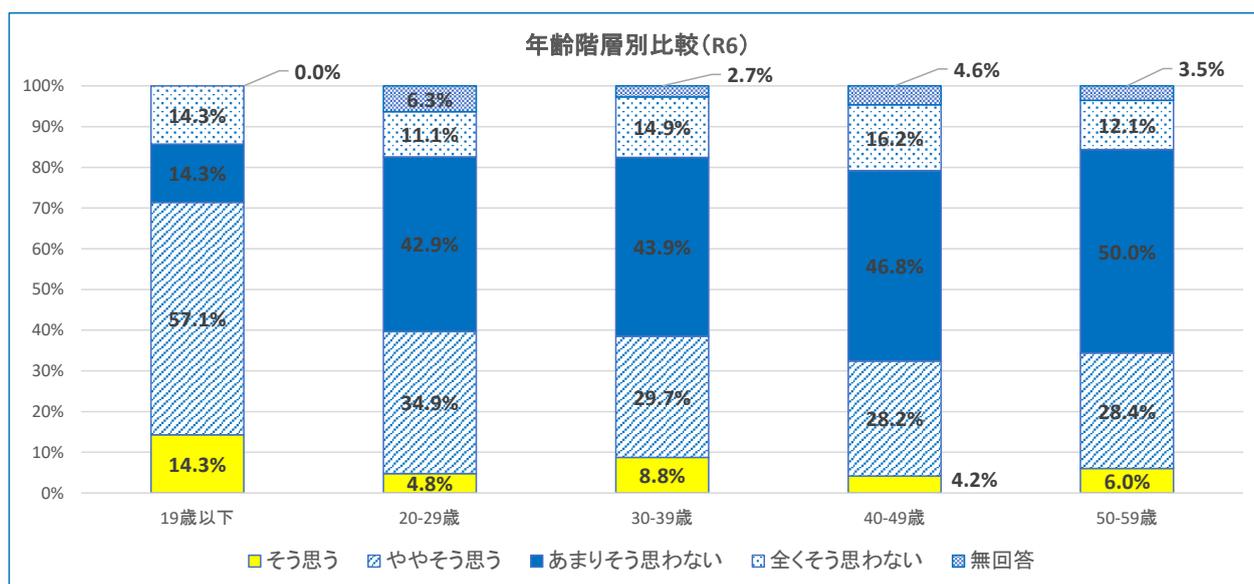
■問9 現在、平戸市は安心して結婚、妊娠、出産できる環境・社会だと思いますか。

令和4年度調査



■問9 現在、平戸市は安心して妊娠、出産、育児できる環境・社会だと思いますか。

令和6年度調査

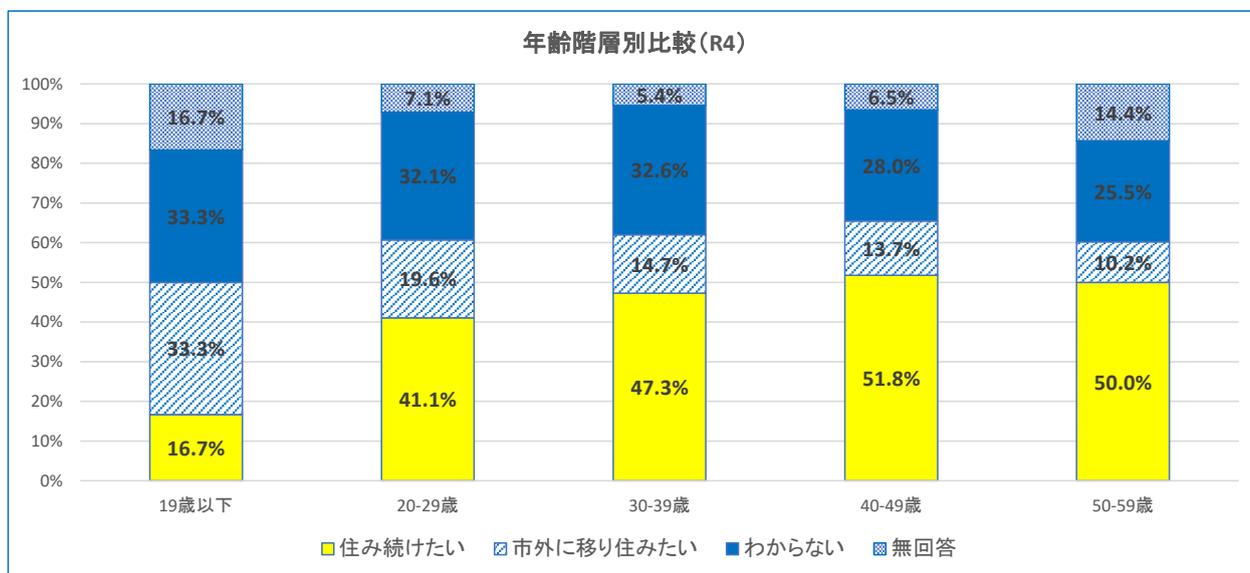


■コメント

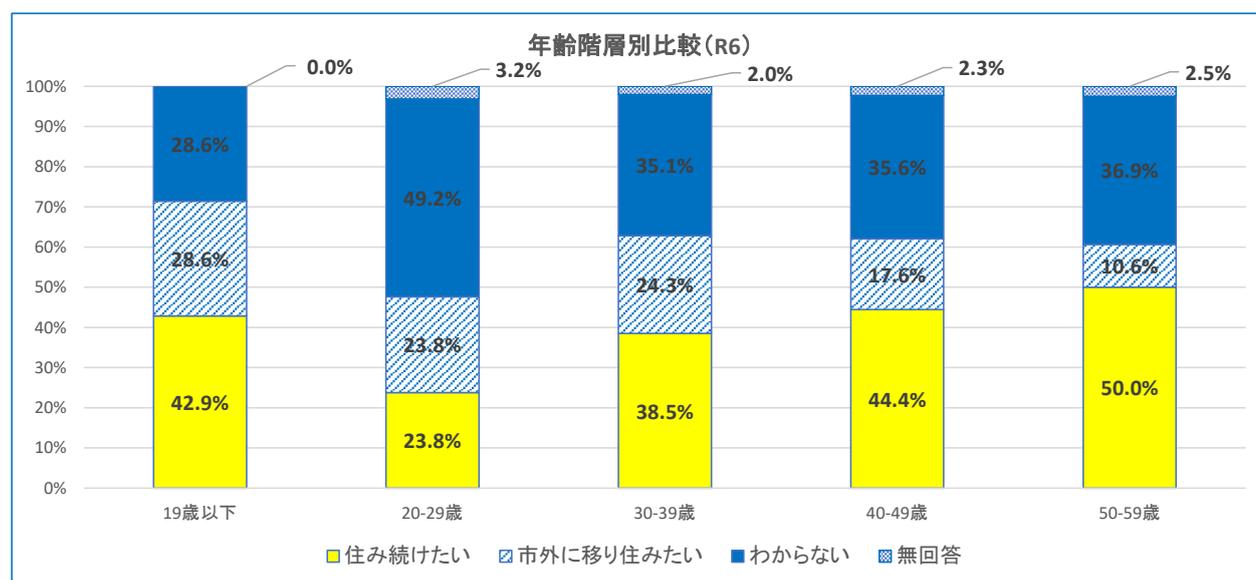
19歳以下の「そう思う」「ややそう思う」の割合が令和4年度調査から大幅に増加した。「そう思う」、「ややそう思う」について、20-29歳の割合が令和4年度調査から19.2ポイント減少しており、産婦人科等の医療機関が無いことや子供の遊び場の少なさ等から不満を持っていることが想定される。30歳以上の「そう思う」、「ややそう思う」については、令和4年度調査及び令和6年度調査とも大きな変動はなく、30%から40%で推移しているのがわかる。

■問14 これからも平戸市に住み続けたいと思いますか。

令和4年度調査



令和6年度調査

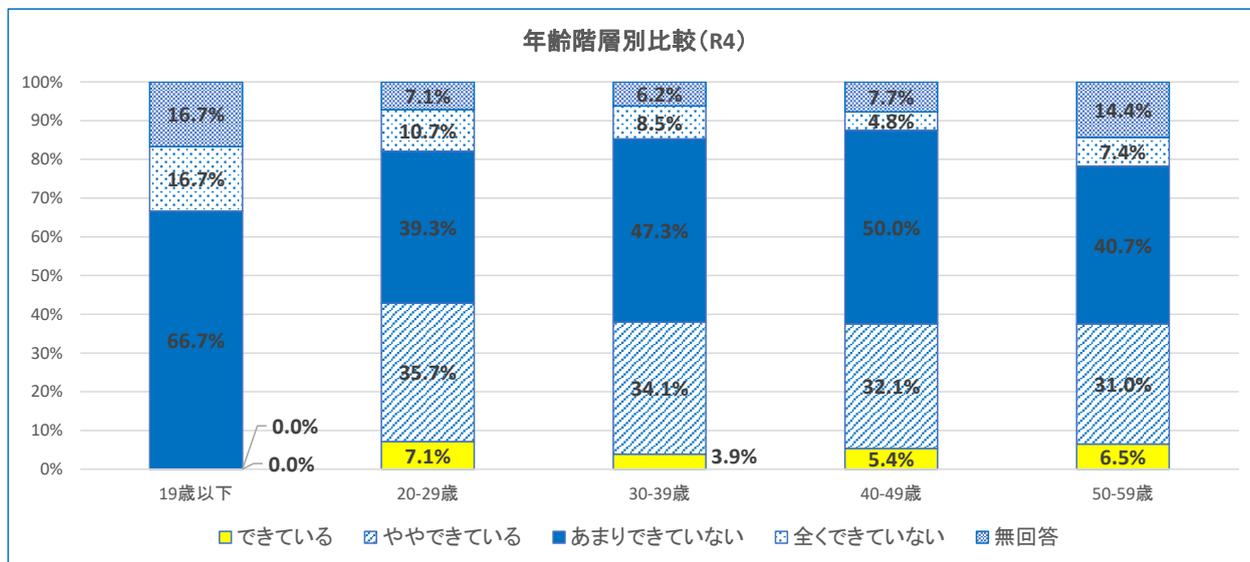


■コメント

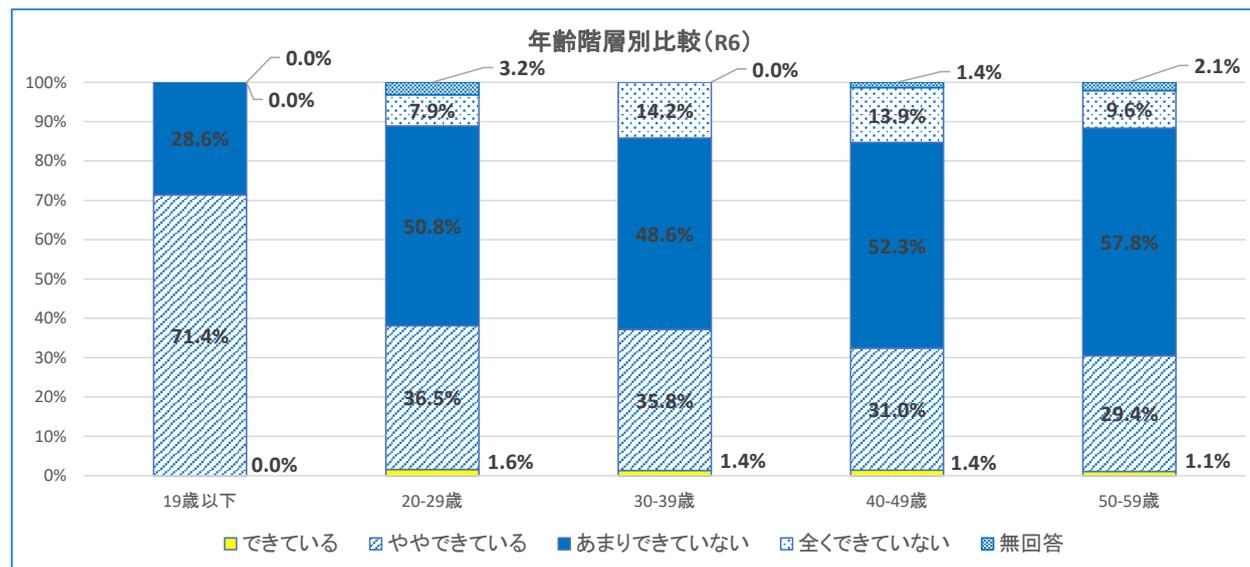
19歳以下の「住み続けたい」の割合が令和4年度調査から大幅に増加した。20歳以上の「住み続けたい」について、年齢が高くなるにつれて割合が概ね増加している。全体的な「住み続けたい」の数値については5.1ポイント減少した。(令和4年度調査48.7%、令和6年度調査43.6%)

■問17 現在の平戸市は、「住みたい、住み続けたい」と実感できるまちづくりができていると思いますか。

令和4年度調査



令和6年度調査



■コメント

19歳以下の「できている」「ややできている」の割合が令和4年度調査から大幅に増加した。19歳を除き「できている」「ややできている」について、令和4年度調査及び令和6年度調査ともに、年齢が高くなるにつれて割合が減少しており、その数値については、30%前後で推移している。「あまりできていない」「全くできていない」について、50-59歳の割合が令和4年度調査から大幅に増加している。「あまりできていない」「全くできていない」と回答した理由を見ると、雇用の場の少なさ・低賃、医療機関の少なさ、子育てに係る金銭的負担への不安、交通の不便さ、食事や買い物をする場所・ジャンルの少なさ等に対する不満によるものとなっている。

■自由記述（雇用促進に関するアイデア）167件

区分	件数	代表的な意見
企業などの誘致	48	雇用は産業促進と一体であるため、工場やサービス業が増加していかなければ難しい。IT産業などは情報インフラさえ整えば遠隔地でも可能であり、高所得も期待できる。また、いろいろな企業に来てもらうためには、住宅地に企業が社屋などを建てやすいように、規制緩和を図るなど、誘致しやすい法整備も必要である。また、交通インフラも重要な施策となる。
		コストコ・アウトレットモールなど商業施設誘致。熊本の半導体のように大企業の工場や支店の誘致。今、増えているデータサイエンスなどは交通の便に左右されず、都会の高い賃金より田舎の環境の良い所で割安な賃金でできれば企業にとってもメリットではないか？
		企業誘致の一環として陸自相浦の水陸機動団に訓練場所を提供してみてもはどうでしょうか。訓練場所の整備が必要であり、騒音、車両の移動に伴う問題があると思いますがその価値はあるかと。
		リモートワークで仕事ができる環境を整備するとともに、都心部からの企業誘致が必要だと思います。
		ジョイフルみたいなお店ができれば、雇用にもつながり、主婦にとって一息つける場もでき、子供達も喜ぶ。遊びに行くにも服を買いに行くにも車で市外に出るしかなく不便なので、お店が増えることで、移住を考える必要もなくなるのでは？
雇用の場の確保	20	若い女性が転出する事無く 就業出来る雇用の場を作ることが重要
		子育て主婦が、子どもが学校や保育所にいる時間に働ける仕事が多くなるといいので増やしてほしい。理想は10時から14時。
		農水産の生き残りのため、瀬戸市場を南部にも！！そして、前津吉港から佐世保へのフェリー実現を。
デジタル技術の活用	1	ネットを活用して集客したり興味を持ってもらう産業振興がないと雇用促進に繋がらない。農業や漁業の会社化。大学などを都市集中にしない。大手じゃなく、地域の会社を利用する。使用しなくなる工夫。
企業情報などの効果的な伝達	7	自宅でもインターネットでできる職種をPR、支援する。 ハローワークに載せる内容をもっと魅力的に書く。写真を多く載せるとか。そういうところを市が雇用主にアドバイスするとか？今は仕事もネットで探す時代だと思うので。平戸市に特化した就職サイトとかを運営するとか。あとは5年働いたらお祝い金とか？介護職の方などには就職祝い金渡しているような記事を見ましたが、他の職種は無いのでしょうか？
賃金水準などの改善	22	衰退していく業種には賃上げ以外に雇用増加は望めないと思う。そういう業種をいかに助成するか、人材を確保するかも行政の広報活動の1つかもしれない。市外、県外向けのPRを盛り上げていければ、平戸の魅力に気付いてもらえるかも。
		給料（賃金UP）、働き方改革、子育てしながら働く方へのサポート充実（時短勤務に対する理解のなさ）。 働く人の所得をあげるため、賃金を増加させた市内企業に人件費分の補助をすることはいかがでしょうか。求人票を見ても最低賃金ギリギリのところばかりで、住んでいる市民としてもつらいですが、移住してこようとは思わないような気がします。ただ、企業自身も今とてもきつい状態であることは承知しているので、その補填が企業向けにあればいいのかと思いました。
職場・雇用環境の充実	10	休日保育が必要。平戸はホテル・飲食業やドラッグストア等で働く母親も多いが、保育施設がないため、人手不足となっている。人手不足の忙しい職場では若い子は特に継続しないと思う。
		昔は大人数で働いていて紛れていたため意識していなかった発達障害やメンタルヘルスの問題を抱えた人たちが、人手不足の折に「当たり前」を求められてうまく適応できず苦しむ場面がある。障がい者枠で採用されても内心経営者に煙たがられる等の実情もある。困難を抱えつつも働きたいと考える人たちが無理なく安心して働けるよう、市内の事業所への啓発をレベルアップして欲しい。
人材の育成	3	中小企業の技術力を向上させる努力が必要だと思う。知り合いだから〇〇店に依頼する、近場ではこのお店しかない等の理由で、仕事をもらうために一生懸命やらなくても受注があるといった様子を度々見かける。その姿勢を変えなければ、この技術を守っていききたい！と思う若者も育たないし、目標となれないので、市外、県外へと若者が流出していると思う。
		給料をあげるばかりでは促進には繋がらないと思います。しっかり長く働ける職場、働く人に応じた仕事の質、働く人の技術、それを育てる人材育成。当たり前のことなんだろうが。
財政的な支援	5	空き家に対して家賃を安くして新規事業に参入できる環境を市が作れないか。

■新しい取組み

登録制。週何回、働ける時間帯、仕事内容の希望等を募る。例えば働く場所とのマッチング。農業等人手が必要な時や観光宿泊施設等。
京都にあるような量り売りのお店があったらと思います。ゴミを減らせて食品ロスにも繋がると思います。
空き家があるので、周防大島町を参考にした、経営者を支援するような取組みができないでしょうか。空き家を無料で貸だし、ネット環境を整え、商店街で使える食券を配布し、住環境を整備し、起業に向けたサポートをするなどはどうでしょうか。従来の雇用を生み出す方法よりも、実業家をサポートし、税収が上がれば福祉の充実にもつながるのではないのでしょうか。
介護関係や調理等について住居も完備の学ぶ場の整備、高校生里親制度導入など、

■自由記述（産業振興に関するアイデア）158件

区分	件数	代表的な意見
ブランド化の推進	6	水産資源に関しては、ブランド化を推進し、良い商品を高く買ってもらえるような品種を増やすべきである。また、そのためには広告を積極的に活用する必要があり、SNSを活用した広告などあまり費用のかからない、しかもアピール力のある手段を活用するなどし、これまでとは違った方法も取り入れることも大切である。ターゲットは博多・北九州など近くて訪問しやすいところを視野に。
		佐世保バーガー、松浦アジフライ・・・と同じように平戸といえば〇〇というものが欲しい。市と商店街、第一次産業の皆さんで力を合わせて取り組むべき。
イベント等の実施	11	他の観光地みたいに、お土産屋の通りがあると町がにぎやかになると思う。YouTubeのイベントとかをすると人が集まると思う。ハウステンボスとか入れなかったと聞いたことがあります。先の事を考えて平戸に職場を増やしてほしい。
		農家や漁業の売り物にならなかった物の詰め放題イベント
PR強化	24	これは頑張ってるように思う。色々なところで催しの広告を目にする場面がある。波佐見陶器まつりのように全国からも訪れるような催しがあるとさらによいかもしれない。
		畜産や農家、漁業者と外部の方々との交流を進め、コラボ企画やコラボ商品などPRをする。
		農水産物について、港に直売所を作る。活魚センターを作りレストランを併設する。イカの活き造り、アジの料理、ヒラメ、サザエ、アワビ、平戸牛の料理など提供する。（農業、水産業を営む自営業者は直接直売所へ商品を納入できる）SNSの活用でインバウンドを呼び込む発信力が弱い。
物流交通改善・販路拡大	5	博多まで直通の道路の早急な整備をして、物流がスムーズになり、地域の活性化に繋がると思います。工場地帯を作ってください！お願いします！働くところをまず作ってください。企業を誘致すると税収も上がります！
人材育成	14	農業も高齢化。後継者がいない。農機具が高い。あまり使用しなくても買わなければならない。シェア出来たらよいと思う。
		水産に関わりたいと考える子どもも多いが（小学生）代々と受け継がれている水産業が漁獲量の減少とともにつぶれてしまっている。外からの研修者、跡継ぎを呼ぶのも大事だと思うが、こういう子供達の将来の夢を守ってくれる平戸であってほしいと願う。
		林業や農業などやってみたい人などを全国から募集して、体験合宿など開催してみても？団体生活になるとその人の性格や協調性など、これから生活するうえで欠かせないところも見えるのではないかな。
商工業の活性化	9	松浦はアジフライの聖地化に成功している。平戸は肉も魚も魅力があるのにコレ！といったものが思い浮かばない。休日はレストラン等どこも列ができていますので、食べ歩きグルメがあればいいのでは？商店街が湯布院のようになれば楽しいと思う。
		各商店街が一斉に売り出し(安売り)があると少しは人通りが増えるのでは？
		商店街に人がいない。買い物をするところがない。コンビニもない。商店街の人たちが反対するかもしれないが、人がいない商店街で活気がなくなるより、コンビニや大型スーパーなどで集客しなくていいの。街にいるのは病院に来ている人だけ。患者さえ帰りに買い物して帰れないと言っている。
環境美化・飲食施設等の充実	10	近隣の県外からのドライブ客などが多い点が活かせていない。豊富な水産資源や平戸和牛と言ったら食のツールを活かしたり、海に囲まれた自然豊かな景色や歴史は県外からの観光客に活用の仕方によってはかなり魅力的だと思う。飲食店や宿泊施設はあるものの、不十分。若者向けのおしゃれな宿やレストランや富裕層向けの隠れ家的な宿や高級路線のレストランなどがあっていいと思う。
		飲食チェーン店など有名どころを南部にも作って欲しい。北部にばかり集中してしまうのでインフラを確実に充実させれば南部にも作れて人口も増えると思う。
		いい産品があるのに、いつ来ても食べるところがあまりないと言われるので、観光客が満足いく飲食店が増えてほしい。
デジタル技術の活用	4	農林水産業等の生業はあるが、どこも年配の方々が労働する上で、ITに対する苦手意識が多いと見受けられる。近代的な商売の手法を敬遠されずに幅広く伝える、教える方法・手段を見出して、講演、講和してもらいたい。〇〇塾、〇〇学習では参加は難しいと思う。
		平戸市ではとても品質の高い農林水産物が生産されますが、DX化の遅れによる販路の開拓に課題があるようです。メールやホームページの活用、Officeツール、会計ソフト等の使い方といった、ごく基本的な足元のDX化が遅れているため、SNSやAI等といった「流行っているように見える」施策を導入しても効果や持続性が薄く、取り組みへの意識も低いようです。このことは平戸市の民間企業だけではなく行政にも見られる課題であると思っています。まずはいつまでも電話とFAXから脱却しないと、どの産業であれ今後の販路拡大は難しいのではないのでしょうか。

## ■新しい取組み

耕作放棄地の問題を解決し、農地の斡旋を行う。

外国有利の太陽光パネルなどの補助金は廃止し、その代わりに薪風呂や薪ストーブ等の生活設備に補助金を出すというのはどうだろうか。全国的にも森林や田畑を管理することが困難になり荒れてきている。そんな里山などに人間が入って行って無駄な木を切って管理し薪を燃料にする事は、電気代高騰対策や自然景観の維持に繋がる。また、寿命が数十年の太陽光パネルよりも薪の方が持続可能なエネルギーとして優秀であり家が火事になったとしても有害物質が流れ炎が消えにくい太陽光パネルよりも安全であると考えられる。消火器等にも補助金を出すのも良いかも知れない。時代に逆行するようだが、昭和のような生活環境を市全体で取り組む事は他の市と差別化され、そういった生活に憧れる移住者の獲得に繋がる可能性は高いと思われる。米農家としては、農業機材への補助金や米専用の商品券等があると助かると思う。私の地域でも今の代で田んぼは辞めるとか機械が壊れたら辞める等の声を聞く機会が多い。根本的解決策では無いが、有事の際に主食の米が足りなくなるのは避けなければならない。そういった観点からも米作りの意欲を無くさせないような政策が必要だと思う。

新しいものが入りにくい。例えば、バイオマス。水産において、バイオマスでエサを作る。

魚釣り客に対して、例えば釣った魚を捌きますよ！とか、魚を調理しますよ！といったお店があってもいいのではないかなと思う。バイク客に対して、1泊できるコンテナの宿泊施設なんかあればと思う。

耕作放棄地を活かした法人農業。ジビエの流通環境の整備。水産物のブランド化。

それぞれの地域の核になる場所があり、そこにいくつかの商店が店を出せる複合施設は無理でしょうか。それぞれの商店が高齢化とともに力を失っている一方で手作りのものなどの力を持っている方もいます。そうした人たちをグループ化して交代で経営できるような場所を、例えば支所やフェリーターミナルなどに設けては、それも一店舗を出すのではなく、一つの棚を出店するようなセレクトショップの感覚でできるといいのですが・・・。

■自由記述（子育て支援の充実に関するアイデア） 193件

区分	件数	代表的な意見
公園や屋内施設の充実	29	<p>雨の日に子供がのびのびと遊べるところが無いので、使われていない施設や放置されている場所を有効活用してほしい。入場料〇〇円、ボール遊び、マット運動、なわとび(長縄)等、運動不足の解消につながる内容であるとなお良いと思う。また、ライフカントリーの草スキーや遊具を復活させることはできないか。</p> <p>有料でもいいので、屋内型の広場が欲しいです。夏場に遊ばせる場所に困りました。異常気象が続き、今後ますます暑くなると思うので、検討していただきたいです。</p> <p>①不妊治療にかかる費用の負担。 人工授精では1回に1万円かかる。※松浦市では助成金があるため。 ②子どもが遊べる場所が少ない。思い切って有料のアスレチック施設を作る。 (平戸は海が綺麗で、自然も豊かなため体験型施設があると良い)県外からの集客も見込める。市内在住者は割引にする等工夫をして、子育て世代が住みたい!と思うような空間を演出する。 ▼参考 Sport &amp; Do Resort リソルの森</p>
医療費・給食費・保育料の無償化や補助金・祝い金等	41	<p>子育て前に男女の婚姻の促進が重要である。1. お金のない夫婦が結婚するときは資金の貸し付けを行う(無利子)。2. その返済額はのちに誕生する子供の人数によって減免する。(例えば子供1人につき減免額は1/4 or 1/3 or 4人産めば返済額はゼロ)</p> <p>育休で1年間収入が減るところを市からの支援金を給料同等に出してもらえば、移住者も増えるのでは? 誕生日祝い金を5~6才まで欲しいです!</p> <p>高校生までの医療費の無償化。保育料の無償化。給食費の無償化。今後の平戸市を支える子どもにお金をかけずに、平戸の未来はないです。子育て世代を全力で支えるべき。</p>
産婦人科や小児科等の医療機関の充実	12	<p>子どもの、発達障害が増加傾向にある。平戸にはそういった子どもを受診させる病院、施設等がありません。義務教育期間から豊かな教育を受けさせるには、そういった施設が身近にあった方がいいと考えます。</p> <p>平戸市に産婦人科を誘致してほしい。産後の検診代も佐世保市と同じように無料にしてほしい。</p> <p>産婦人科がないことが1番不安要素です。交通費とかより、何かあった時にすぐ受診できない不安感です。妊婦にとって安心できる環境が整うことを願います。</p>
子育てサークルや親子参加型イベントの実施	13	<p>0歳~3歳児を育てているときは社会とのつながりが少なく、それぞれの家庭環境もありますが、個人的に「親育ち講座」や「トコトコ」は救われたと思っています。</p> <p>ファミサポの活性化・ベビーシッター三世帯同居ばかりではないことを市は認識してほしい。学童保育も対応が遅かったと思っています。</p> <p>夏休みなど長期休みなどになると特に、近くに子ども食堂などの利用できる場所が欲しいと感じる。そういった所に人が集まり子育ての悩み、不安を相談できると、一つの場所で支援が充実すれば、利用しやすくなるのでは?と思う。気楽に相談したり、悩みを解決してくれる場所が必要ではないかと思う。</p>
こども園や学童等のサービス向上	18	<p>少子化の中、地区ごとにある児童館は重要ですが、市内中心部に総合児童館というか、小学生までの子どもが親子で遊べる場所があると良いと思います。そこに行けば、市民は育児についての悩みが話せたり、アドバイスがもらえるなど安心して育児が出来る施設で、もちろん市外からの利用も利用料を徴収する事で利用可能にし子ども連れの観光客の利用も想定し、育児相談などから移住につながるなども考えられるような多機能施設。</p> <p>休日保育の充実...ファミサポは正直不安があり、値段的にも使用したいと思えません。支援センター、遊ぶ場所...大村市のおむらんどのような場所があれば、子供を連れていけるレストランもあるといい。</p> <p>病後児保育の充実が必要</p>
学校改革・高等教育機関誘致	9	<p>部活動が地域移行しているなかで、地域にどのような運動サークルがあるのか、最初はさっぱりわからなかった。人づてやに聞いて参加しているが、小・中学校の入学の時点で紹介があってもいいと思う。</p> <p>平戸高校の生徒の数が減ってきている。ほとんどが市外へと...。地域に合った学科(水産・農林業)とか3年間でなにか資格を取れるようにしたら、もっと地元に残る子供達が平戸高校へ行くようになるかもしれないね。</p> <p>学校の老朽化が進み、学ぶ環境としてはがっかりすることもあります。トイレの使用禁止(故障)が長く続いています。また、室内で遊べる環境が少ない。雨の日でも遊べる場所がほしい。(メリッサ佐世保のような施設)</p>
働き方改革	2	<p>職場と密接な子育て環境の充実。</p>

## ■新しい取組み

子供が3人以上の所には車の税金を補助してもらいたい。2人までは軽でも乗れるけど、3人以上は普通車になるので税金が痛い。

オムツのゴミ出しを無料にしてほしいです。

オムツプレゼントがほしい

産科医がない。→安心して産めない。30W頃より佐世保に泊まり込める施設を作って欲しい。

保育資格は必要だが、子育てが終わった世代で子供好きで預かりたいと思う方々に手伝ってもらえばいいと思うのだが、(預かる所の減少で)環境を整えることが大事だと思う。

■自由記述（定住・移住促進に関するアイデア） 194件

区分	件数	代表的な意見
空き家の有効活用	14	高校住宅を市が買い取るか借家として低家賃の住宅を作ってはどうか。戸石川地区の住宅は修理すれば住めます。遊ばせているのがもったいない。
		空き家、空き地の市による買い上げ。有効活用。家賃補助、起業補助によって移住者や産業を増やす。
		ネット環境の充実、空き家などを市がリノベーションしたりして、古くても新しい家にと借りる人もいのではないか。
財政的な支援	16	人口が減っているなか、移住者にもっとフォーカスした方が良い。市民が出ていくことばかりでなく、移住者に優しくした方が人口減少には少し歯止めはかかると思う。私の身内も平戸への移住を考えていたが、市営住宅の状況や民間企業のアパートを見ても家賃が高く断念した。新婚夫婦や若い年代へのサポートや補助も、もっとしてあげないとこのまま平戸市は衰退していく一方だと思います。
		賃貸住宅への家賃補助よりも、家を建てて永住する見込みのある市民にこそ補助を出すべき。
		①平戸市内のホテルで結婚式を挙げてもらう為のサービス(式代補助)→②なおかつ、平戸市内に住む(1年間の家賃半額補助)→③そして、子供が生まれたら、保育料無償化なので、①と②の流れを作ってほしい。
デジタル技術の活用	3	自然災害、特に平戸は台風の影響が強く、私の地域では停電やインターネットの切断等の影響があり、特にインターネットは台風の度に復旧の連絡を入れて数日後に復旧する状況である。インターネットを使用して情報を得たり仕事に使用している身としては、もっと強固で安心できる回線を望んでいる。また、市内で使用できる回線速度が下り上り共に最大1Gbpsというものばかり。最大10Gbpsというのも昨今増えており、インターネットを重視する人からすると平戸市はインターネットに弱いという印象を持たざるを得ない。インターネットも今では立派なインフラであり若者や企業も注目する点である。平戸市としてインターネットインフラに力を入れる事は必須の課題であり、移住・定住、雇用促進の手助けになる事は間違いないと言える。
イベント実施やPR強化	18	どのような移住者に来てもらいたいのか、移住者が平戸市に来た後具体的にどんな風に暮らすのかの明確なビジョンがないように思います。都市圏からの移住者に来てもらいたいのであれば、免許取得や自家用車の確保について何らかの支援が必要かと思えます。車社会ではない場所で生活してきた人間にとって、車が必要な生活というのは想像が難しく、不安が大きいものです。元々平戸に住んでいたひとには当たり前のことであつたとしても、細かい説明が必要かと思えます。平戸市内でどこかの企業の従業員になってもらいたいのであれば、具体的な求人情報や所得に見合った住宅の確保と共に情報発信や事前のマッチングを行うのがよいかと思えます。平戸市内で創業してもらいたいのであれば、移住者が土地勘のない場所でききなり(雇用を伴う)創業をするというのは非現実的なことです。移住前の話し合いも含め、慎重かつ手厚い支援が必要かと思えます。また、平戸市の創業支援は35歳以下に特に手厚いようですが、ビジネスマンとしてのスキルや人脈が充実するのは最低でも40歳前後です。成功する創業を求めているのであれば、創業支援の対象の年齢層を再考した方がよいかもしれません。ITエンジニア等のリモートワーカーに来てもらいたいのであれば、コワーキングスペースが必須の施設です。例えば唐津市のMEME KARATSUのような施設があれば、リモートワーカーが日々の業務やミーティングに使用できますし、ワーケーションをするひと助かります。何にせよ実際の利用者の意見を聞いたうえで設置する必要があるかと思えます。いずれにしろ、実際の移住者の意見を細かく聞いた方がよいと思えます。そのような機会を定期的に設けてはいかがでしょうか。
		住みやすい空き家を探している人は意外といるので、市に充実した窓口があるとよいのではないのでしょうか。全般的にホームページが見にくいです。
		子育て世代へのアピールが弱い。上記を前面に打ち出してアピール！！移住定住者の新規住宅取得などに対する補助の戸当たりが安すぎる。
交流の場の確保	9	移住者や移住希望者が集える場所が少ない。行政だけでなく、民間と連携した気軽に相談できる窓口があれば相談しやすいと思う。二地域居住も今後推進していくことで、移住を考えるきっかけとなり、定住に繋がっていくと思う。
		定期的に移住体験や、移住者などとの交流会を開催する。

企業や店舗等の誘致や整備等	9	<p>中部に温泉センターがあるので、そこを拠点に足湯やホテル、住居を作る。生月方面にバイクツーリングする人が多いので、彼らが立ち寄れるカフェ飲食店を作る。</p> <p>市を活性化させるには、人口を増やすことも大切だけれど今後日本の人口は減少していくので県外や海外からの観光客にお金を落としてもらわなければならないと思う。</p> <p>【アイデア①】 長崎県には魅力的な温泉やスパが少ないため、伊万里や武雄に行く知り合いも多い。温泉がでなくても、日帰り入浴やサウナ、岩盤浴等ができる施設があれば釣り人やツーリング、海水浴に訪れた人が利用する。また、雨の日も楽しめる。温泉施設内にはリラクゼーションやフィットネスジムを併設している場所もあり、老若男女問わず人気。そして働く人も増える。</p> <p>▼参考 ※湯けむりの庄 宮前平店 ※おふろの王様 和光店</p> <p>【アイデア②】 温泉ができれば、近くに民宿やホテルができ、周りに飲食店(レストラン、居酒屋、カフェ等)やお土産屋ができる。お洒落な写真スポットを作ってSNSで20代の集客を狙う。まず平戸という土地を知ってもらおう。実際に遊びに来て初めて移住を考えようと思う。</p> <p>【アイデア③】 平戸南部は交通手段がほぼ車なのに前津吉からのフェリーが到着してもレンタカーやタクシー、バスも何も通っていない。フェリーは珍しい乗り物なのでそれだけで楽しめるような気がするのに目的地に観光スポットがないため利用者が少なく感じる。前津吉発バスツアーなどを作っても面白いのではないのでしょうか？高齢者が住みやすいのも良いですが、若者がわくわくするような街になっていけば嬉しいですね！</p> <p>補助金は今のままでいいと思います。ひとつでもいいのでカフェのチェーン店など若者の居場所をつくれれば移住促進に繋がると思う。移住者イベントを増やす。</p>
住宅や教育などの環境の充実	14	<p>南部地区にも空き家が多く見受けられます。味のある古い造りの家もあってもったいないと感じます。静かで自然の綺麗なところなので物づくりをしているアーティストさんなどが多く移り住める場所にできないかなと思うことがあります。持ち主さんがいなくなったり不明だったりいろいろ問題はありますが、ある程度元の良さを維持したまま今風にリフォームして貸し出ししたり売出ししたりできないでしょうか。水洗トイレとインターネット環境は必須だと思いますが、そうでなくても町単位で下水整備していただけたらすごく有り難いです。</p> <p>もっと若者が住んで楽しい町、オシャレな町、子育てがしやすい町である、ということをお願いする。小佐々も最近オシャレなマルシェを開いたり、魅力的になってきていますよね。平戸でもオシャレな雑貨を扱う作家さんたちや、体に優しいスイーツなど作られる方など集めて、オシャレなマルシェを定期的に開いてみて。そうすると魅力的な町に見えるし、こんな方々が住んでいるんだ、いいなあと感じるかも。子育てしやすい町ということで、公園が綺麗に整備されているとか、トイレが綺麗だとか、近くにご飯を食べられるところがあるとか、そう言う暮らしやすさだったりとか大事だと思います。</p> <p>離島に移住するにはアパート等の居住の充実が必要だと思う。</p>
雇用環境の充実・雇用の場の確保	11	<p>定住、移住を促進するには、仕事、職場の拡充が絶対。まずは地場産業、企業誘致に力を入れることだと思う。</p> <p>高齢化が進んでいるので、看護職とか増やしたらいいと思う。農作物・海産物の加工業で雇用が増えるといい。</p>
交通の利便性の向上	6	<p>北部方面でも、西肥バスのような大型車は利用者が少なく思える。「まめバス」みたいな、またはハイエースくらいの大きさの車を頻りに運行してもらえると高齢者も外出の機会が増えるのでは？タクシーチケットは少ない。タクシーもつかまらない。同じ予算を使うならもっと使えるものを考えてほしい。</p> <p>平戸島南北に渡る高速道路もしくは自動車道の建設。移動時間の短縮のため。</p>
子育て支援の充実	4	<p>もう少し子育て支援の良さをアピールするべき。結婚してからの住宅補助ももう少し所得制限をゆるくしてもらえるといいと思う。</p> <p>子どもを育てる環境としては、平戸はとても良いところだと思うが、それに見合った子育て支援や、住居を用意するなどしないと移住や子供を連れて戻って来ようとは思わないと思う。保育施設や学童施設も充実しているが、もう少し利用しやすい様な値段にしてほしいと感じる。仕事がある他の県や町でも子育て支援がしっかりしている所へ子育て世代は移住していると感じる。</p>

## ■新しい取組み

<p>平戸市はアジアの都市とも近い位置にあるので、物流貿易港を設置すれば、近隣の東アジアのようなハブ港としての機能が生まれるのではないかと考えます。輸出・輸入の生産拠点としての立地では抜群だと思うので、その強みを活かし、整備を進めて欲しいと思います。</p>
<p>他県のように、25年住み続けると、借りている新築の一軒家が自分の家になるシステムなどがあると住み続けられるし、家族がいる世帯はうれしいと思います。</p>
<p>空き市営住宅や空き家バンクを活用した日本各地の若者災害被災者移住支援または、被災された地域で移住を考えている方に平戸移住支援を紹介したパンフレットを作成して仮設住宅後を支援しながら移住者誘致を行ってみたいかがですか。</p>
<p>空き家バンクを充実させ、農地や漁業であれば中古漁船の貸し出し等のセットを選べるようにする。空き家を住める程度にリフォームを行い(補助金)、オーナーには固定資産税程度の家賃を送金し、残りの賃貸料は市が受領し、資金を確保する。</p>